

第8回 王寺町 議会報告会

テーマ：まちづくり協議会

2024.2.10

王寺町議会議員：中井 一喜

王寺町議会議員：梶田 佳宏

第8回
王寺町
議会報告会

4年ぶりのリアル開催。聴かせてください、あなたの意見

コロナ禍のオンライン開催を経て、直接、皆さんの声を聴く機会として4年ぶりに「議会報告会」を開催します。議員による活動報告のほか、皆さんが日頃から感じている、まちや地域の課題・お困りごと、王寺の今後の展望などの意見を共有します。多様な世代の多様な皆さんの参加をお待ちしています。お茶やコーヒーを飲みながら、一緒にお話しませんか。

2024
2.10 土
10:00
12:00

会場 やわらぎ会館3階 研修室
※王寺町役場西側・図書館の建物

対象 王寺町在住・在勤・在学の人

※親子でどうぞ!! ※託児あります

予約QRコード

第1部 10:00～10:30
町政トピック
「まちづくり協議会」
まちの課題解決や事業の推進などのみんなが地域をよくする新しい協働の仕組み、「まちづくり協議会」。王寺町がすすめるこの取り組みを、先進自治体の事例とともに紹介します。

第2部 10:45～12:00
みんなでトーク
グループ座談会
第1部を受けての意見や、皆さんが日頃感じている、まちへの関心やお困りごとなどを共有する座談会。グループに分かれて、議員があなたの思いをお聞きし、行政（王寺町）に届けます。

議員一同、あなたのお話しをお待ちしています

主催：王寺町議会 問合せ：王寺町議会事務局（☎0745-73-2001／内線303）

王寺町の課題 人口減少・超少子高齢社会への対応

国立社会保障・人口問題研究所 (R5.12.22発表)

2050年推計人口(2020年時点から)

●全国 $\Delta 17.0\%$

●奈良県 $\Delta 28.2\%$

●王寺町 $\Delta 11.4\%$

経済、雇用、年金、
医療、介護、教育などに影響

住民が地域の課題解決の担い手となるよう、
協働を進めるための仕組みづくりが必要

令和3年4月施行

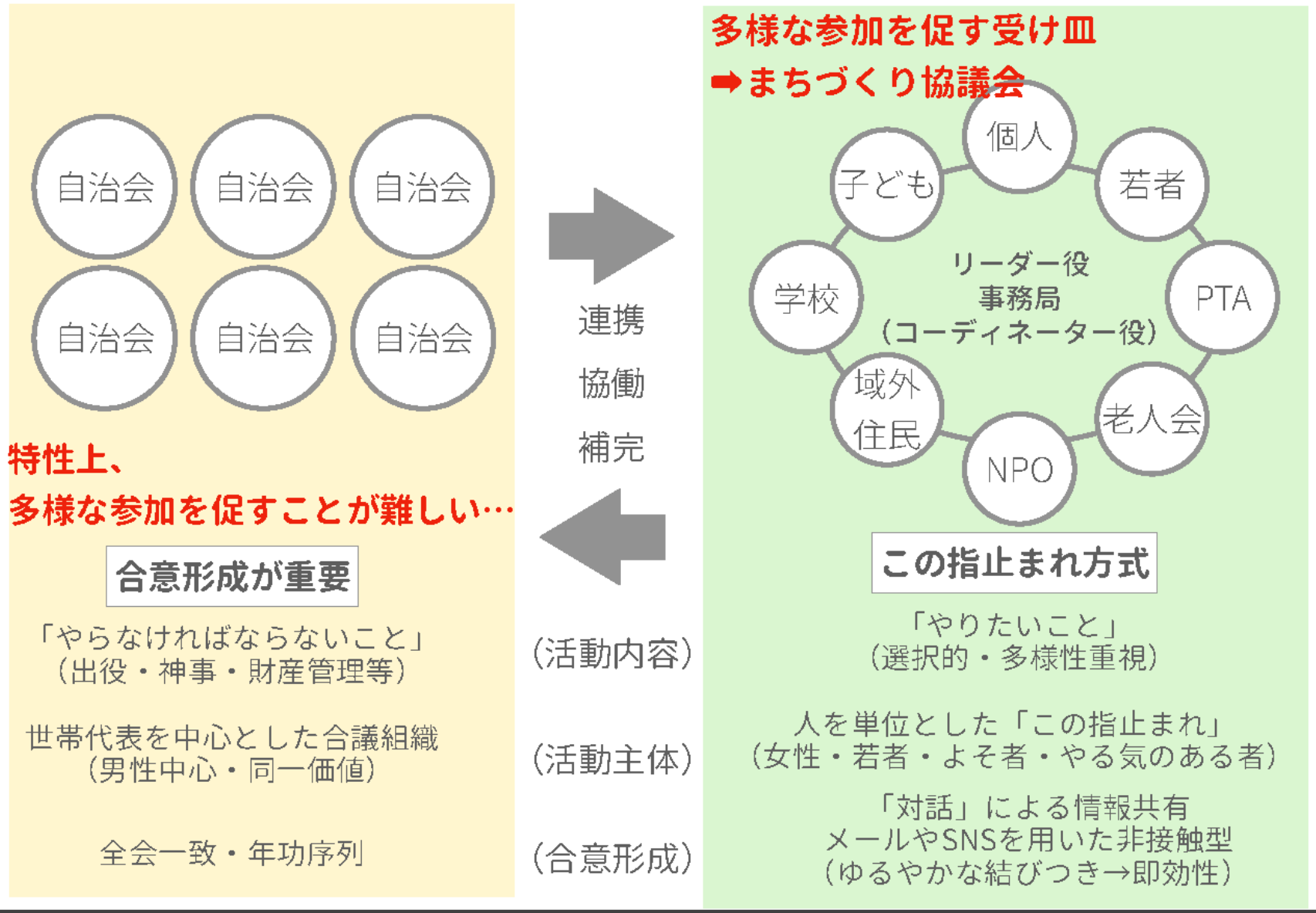
「王寺町まちづくり基本条例」

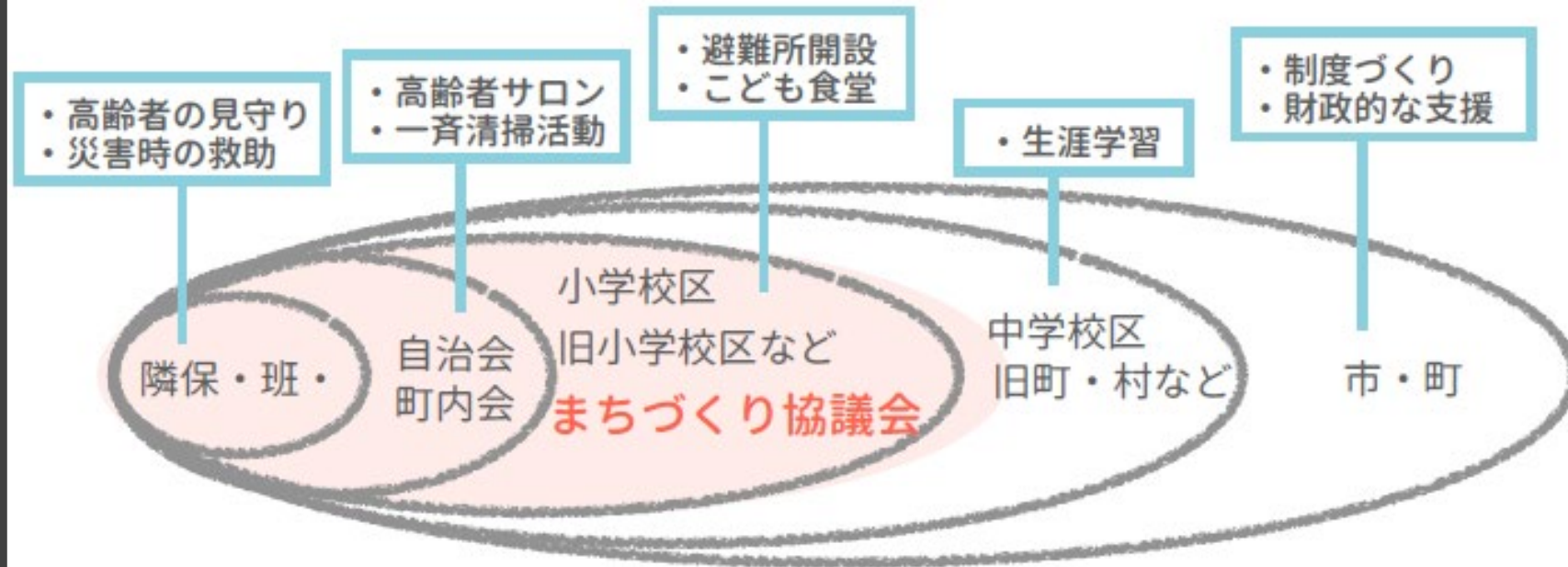
町の地方自治及び町政に関する最高規範

前文

- 「和（わ）の精神」 ● 「和（やわらぎ）の鐘」
- 大和川・葛下川や明神山などの自然豊かな町
- 先人たちが築き上げてきた町を守り、
さらに発展させて子どもたちに引き継ぐ
- まちを愛し、誇りに思うと同時に、担い手として行動する意識
「シビックプライド」を育み、協働によるまちづくりを推進
- 「まちづくり協議会」を条文化







【補完性の原則】

圏域ごとに「できること」「やるべきこと」は違う

シビックプライドを高めること、
まちづくり協議会の先行事例を学ぶため



きたもとし
埼玉県**北本市**へ

王寺町から



埼玉県北本市へ



シビックプライドを高める手法を学ぶ

全議員研修で埼玉県へ

10月19日(木)・20日(金)の二日間、全議員研修を実施しました。今回は「シビックプライド(まちへの愛着や誇りといった気持ち)」をテーマに、先進地である埼玉県北本市へ行政視察に伺いました。王寺町で検討されているまちづくり協議会の仕組みや、地域参画の手法など、深めた見識を今後の議員活動に生かします。

●シビックプライドを高めるインナープロモーション

…外向けの打ち上げ花火的なプロモーションではなく、今いる市民を大切に、人が集える場を整え、まちに関わる人々をつないだ結果、同市17年ぶりに人口が社会増となった。

●ふるさと納税を活用した市民活動の応援・醸成

…令和2年度から3年連続で埼玉県内1位の寄付額。さらに、クラウドファンディングを活用して市民企画の事業を応援している。

●北本市コミュニティ協議会の役割・運営のイロハ

…8つのエリアで自治会や各種団体、地域の市民による協議会を運営。地域ごとの公民館を拠点にし、大規模な祭りや体育大会などをそれぞれの地域で実施しており、課題解決や事業に市民主導で取り組んでいる。

北本市の昔

市外から人を呼び込め！
市外にプロモーション！

- 大都市圏内から移住者を増やす
- 大手広告店に委託し、市外でPR
- 補助金、給付政策
- どこの自治体も似たり寄ったり

北本市の現在

市民のまちへの愛着重視

- 今いる市民にまちへの愛着をもってもらい、住み続けてもらう
 - まちの活動に参加してもらうことで、まちの活力を維持する
 - ターゲット：市内に住む
25歳から34歳までの女性
-

- ①市民がまちに誇りと魅力を感じる
- ②市民が当事者意識を持ち、まちの活性化や課題解決に向けた取り組みに参画する
- ③まちへの誇りや行動、実績が市内外へ発信され、共感や憧れを獲得する

さらに、まちへの誇りと魅力を感じるように

屋外の仮設マーケット

- 複数の自然のフィールドを使った「マーケット」を開催
- 市内外から多くの方々が来場
- 北本の自然環境や地域の個店と接する貴重な機会
- 屋外マーケット年間103回実施





子どもたちが
安心して過ごせる



この場で目立つのは生き生きとした子どもたちの姿だ。出店者も子どもを連れてくる人が多く、自ら店番をしたり商品を売り歩く子どもたちもいる。また、その日初めて知り合った子同士が芝生で一緒に遊ぶことも珍しくない。子どもを連れてきた両親も、自分の出店ブースの対応をしたり、会場の買い物を楽しんだり、大人は大人でマーケットを楽しむ時間を過ごしている。



&green marketの大きな特徴は、芝生広場を自由に使えること。レジャーシートを広げてご飯を食べることも、レコードを持参して音楽をかけてもよし。楽器の演奏やヨガなど、好きなことをして過ごすことができる。



芝生で思い思いの
時間を過ごす

場のかたち 01 &green market

市役所芝生広場で定期開催するマーケット。回数を重ねて北本の日常の一部になり、自分の時間を過ごす人たちが増えてきた。

&green market
開催日 9月17日、11月19日、
1月21日、3月11日
の土曜日
場所 市役所芝生広場



マーケットから自分たちの暮らしを考え、 対話するワークショップ



マーケットの学校



&green marketの場で感じた違和感とかもやめたことも、「マーケットの学校」で皆さんとシェアすることで消化できていきます。寂しい思いや不安な気持ちと向き合ってもらっています。

&green marketと関係にあるのが市民ワークショップ「マーケットの学校」だ。&green marketのコアメンバーや出店者も含めて、北本らしいマーケットのあり方や、各々がマーケットで実現したいことを対話を通してみんなで考える。

▲マーケットの学校に初回から参加する南波さん



たき火を囲んで
おしゃべりを楽しむラポブース

たき火は、関係法令を遵守し、実施しています

『ラポブース』は芝生と並ぶ特徴だ。地元の農家さんから仕入れた季節の野菜などをたき火で焼いて味わうことができる。一般来場者はもちろん、出店者や運営も集まり、野菜やマッシュマロなど好きなものを焼ながらおしゃべりを楽しめるブースだ。食べたい野菜を持参してラポで焼くのも楽しみ方の一つだ。



「マーケット」

- 地域資源(「ヒト」「モノ」「コト」)を知れる場
- 顔の見えるコミュニケーションを取れる場
- 多世代交流・異業種交流の場
- 多様な可能性を含んだ場である。



新たなコミュニティの創出や防犯、防災、教育、福祉、協働といった多分野で関係構築、課題解決に波及する可能性がある。

行政としてマーケットを支援する意義

様々な可能性を生み出すプラットフォームのような場が出来ていくことは、まちにとって大きな価値、今後より一層必要とされていくことと考えている。

愛着・親しみ・
興味が湧いた

75%

次回も参加したい

77%

屋外の仮設マーケットはシティプロモーションに効果的

「全国広報コンクール」 2年連続 内閣総理大臣賞受賞



マーケットの
企画が受賞



その企画を特集した
広報紙が受賞



ふるさと納税を活用した市民活動の応援・醸成

- 北本市の活性化につながるプロジェクトを募集
 - クラウドファンディングの手法で集める。
 - クラウドファンディングとは、インターネットを通じて不特定多数の人からプロジェクトに必要な資金の調達を行うもの。
 - 市がプロジェクトの認定をすることで、信用性が上がり集金力も高まる。
 - 寄附金の使い道を明確にして、共感するプロジェクトに対して寄附金を集める。
-

市民提案型ふるさと納税クラウドファンディング

- 北本市民及び市内の団体が対象
 - プロジェクト内容、目標金額を設定し、市へ申請
 - 公益性、市の活性化、シティプロモーションに資する事業が
庁内審査会で審査
 - 認定されたプロジェクトをふるさとチョイスへ掲載
 - 集まった寄付金額を申請者へ補助金として提供
-

実績

年度	プロジェクト	寄附 件数	寄附金額
令和元年度	北本市の財産である雑木林をふれあいの場に！	26	472,000
	まちを見直す「暮らしの編集室」の拠点を作りたい	36	806,000
令和2年度	地域を諦めないために。郊外団地商店街に、子供たちや若者が活躍できる居場所を作りたい。	124	2,004,000
	埼玉県北本市から自然をより身近に感じられるアウトドアカルチャーを共創したい！	59	1,069,310
令和3年度	北本団地商店街「まちの工作室」プロジェクト	143	2,023,000
	災害時でも、ホッとこころが温まるようなクッキーを長期保存可能な無添加クッキー開発プロジェクト	118	1,125,000
	子供からご年配まで、街のコトを知れて好きになる北本デジタルアーカイブズ	15	372,000
	北本トマトを生かした「北本クラフトスピリッツ」プロジェクト	30	625,000
令和4年度	一緒に学び・教え合う「コミュニティ工房&シェアスタジオ」プロジェクト	140	2,116,000



住人の高齢化や少子化・人口減少に伴い、シャッター化が進んでいた北本団地商店街の一角に、2021年6月「中庭」というスペースが出来ました。ガバメントクラウドファンディングを活用して誕生した「中庭」は、ジャズ喫茶を中心としたレンタルスペースで、子供・若者から年配の方まで、また地域の方だけでなく遠方の方まで、色々な人が集まる交流の場となり、商店街や団地に新たな賑わいを生みだしています。そして「中庭」が出来て約半年たった現在、集まってきた人の中から「自分もこの北本団地商店街に拠点を持って活動してみたい」という人が現れはじめました。今まで長く閉まっていたシャッターを開けてくれる担い手が集まり始めたのです。この流れを止めず、さらに新しい風を吹かせ、人の繋がりと可能性を生みだし、北本団地商店街に賑わいを取り戻すために、団地に集まった3人のものづくり作家と一緒に、シェアアトリエ & ギャラリー【まちの工作室】をつくるクラウドファンディングに挑戦します。

📍 コミュニティ協議会とは

| [組織概要](#) | [イベント案内](#) | [広報](#) |

一般社団法人 北本市コミュニティ協議会 Association for Kitamoto City Community

名称)

この法人は、一般社団法人北本市コミュニティ協議会と称する。

(事務所)

一般社団法人北本市コミュニティ協議会は、主たる事務所を埼玉県北本市に置く。

(目的)

一般社団法人北本市コミュニティ協議会は、地域住民が心ゆたかなふれあいを深め、創造性のある地域活動を営むため、潤いとやすらぎのあるコミュニティ活動を推進することを目的とする。

(事業)

一般社団法人北本市コミュニティ協議会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) コミュニティ意識の普及啓発を図る事業
- (2) コミュニティ活動推進のための調査研究、企画運営事業
- (3) 地区公民館等の指定管理委託に係る運営に関する事業
- (4) 北本市及び他団体等の事業への協力支援に関する事業
- (5) その他協議会の目的を達成するために必要な事業

●昭和54年 「北本市総合振興計画」において「コミュニティの基本構想

●昭和54年7月 「北本市コミュニティ推進協議会」設立

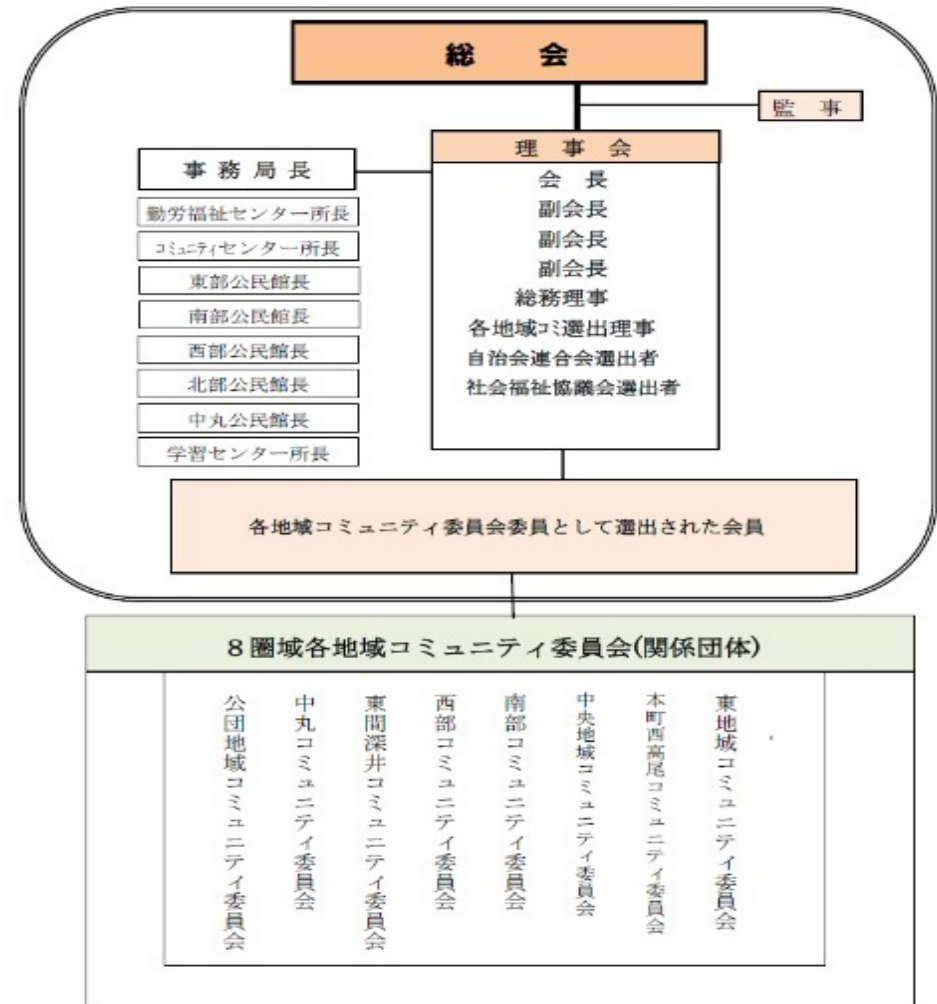
昭和58年

小学校区を概ね主単位として
8つの地域コミュニティ
組織づくりが始まる

昭和60年度

各地域コミュニティ委員会
が発足

一般社団法人 北本市コミュニティ協議会 組織図



平成26年

一般社団法人となり、 公民館の指定管理を受託

指定管理者制度とは、

指定する法人その他の団体に地方公共団体に代わって公の施設の管理を代行させることで、住民ニーズへの効率的・効果的な対応を図り、行政サービスの向上、行政コストの縮減を図ることを目的とした制度

— 北本市地区公民館 利用案内

市内には地区公民館が8カ所設置され、地域の皆さんの「学びの場」「創造の場」「集いの場」として、生涯学習やスポーツ活動、団体の集会に利用されています。各々の施設は市内8つの地域コミュニティ委員会の活動拠点施設としても運営しています。また、地区公民館には、住みよい地域社会づくりのため、市民の皆さんに利用していただく施設として、集会所が併設されています。



▶ 勤労福祉センター

東地域コミュニティ



▶ コミュニティセンター

本町西高尾コミュニティ



▶ 東部公民館

中央地域コミュニティ



▶ 南部公民館

南部コミュニティ



▶ 西部公民館

西部コミュニティ



▶ 北部公民館

東間深井コミュニティ



▶ 中丸公民館

中丸コミュニティ



▶ 学習センター

公団地域コミュニティ

単位自治会では担えないイベントを開催

- 北本さくらウォーク
- 北本まつり（宵まつり）
- 体育祭
- 文化祭

地域コミュニティ一覧

東地域コミュニティ | 本町西高尾コミュニティ | 中央地域コミュニティ | 南部コミュニティ | 西部コミュニティ | 東間深井コミュニティ | 中丸コミュニティ | 公園地域コミュニティ |



勤労福祉センター

▶ 東地域コミュニティ



コミュニティセンター

▶ 本町西高尾コミュニティ



東部公民館

▶ 中央地域コミュニティ



南部公民館

▶ 南部コミュニティ



北部公民館

▶ 東間深井コミュニティ



西部公民館

▶ 西部コミュニティ



中丸公民館

▶ 中丸コミュニティ



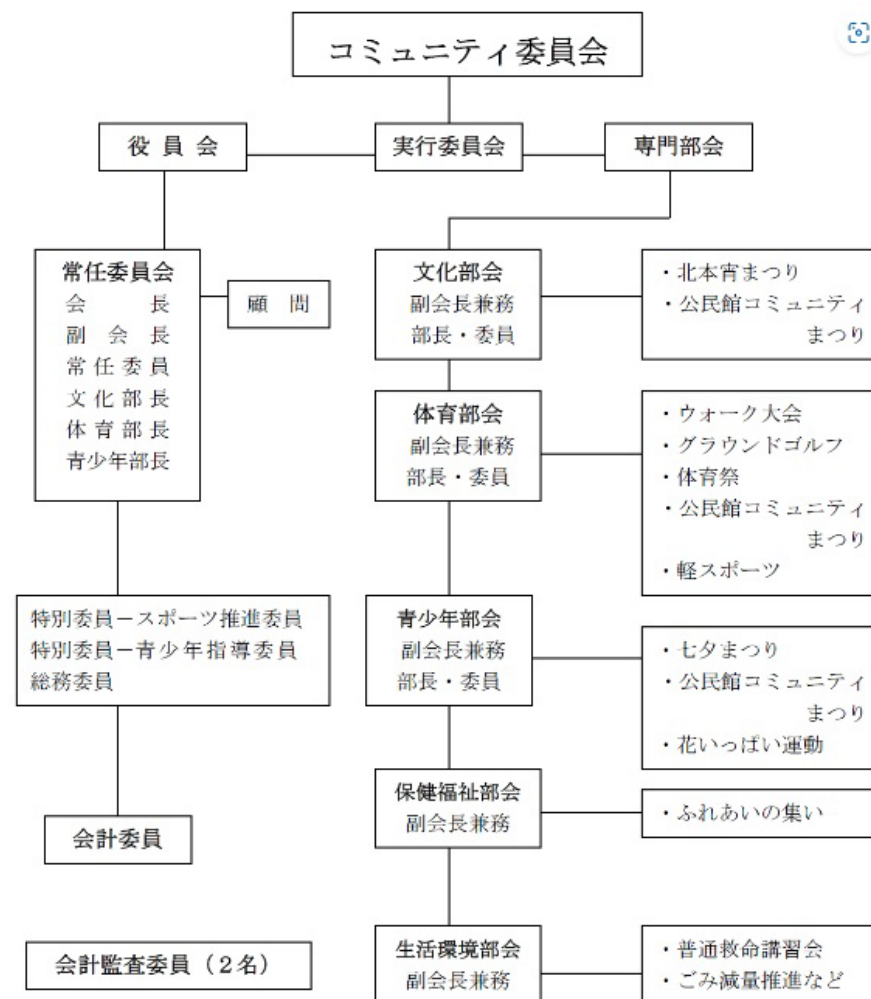
学習センター

▶ 公園地域コミュニティ

【組織概要】中丸コミュニティ

【イベント案内】中丸コミュニティ | 【広報】中丸コミュニティ |

ーコミュニティ委員会組織図





明石市まちづくり協議会の事例(持続可能&趣味から地域へ)

事例: ボランティア団体と連携して清掃活動を持続可能に



朝霧地区「朝霧川の清掃活動」

清掃に当たってきた自治会の
中心メンバーが高齢化、継続に不安



「朝霧川清掃・自然観察会」として毎月第4日曜に実施

➡ 親子を中心に毎回30名以上が参加

事例: 趣味から、地域に関わる・活かす



ふれパト

(ふれあいランニングパトロール)

「地区の青パトやスクールガード
と一緒に活動する？」

自治会等と合同で見守りを実施へ



➡ 見守り活動や青パトに参加・
引き継ぐランナー出始めた

ふれパトFacebookページより

明石市まちづくり協議会の事例(補い合う活動)

まちづくり協議会から生まれた「補い合う活動」

和坂校区：避難・防災訓練



一次避難所までの参集 二次避難所開設訓練



自治会で担当

まち協防災部会と
自治会の防災担当

和坂校区：買い物支援



コープこうべと協働した
「買い物もん行こカー」の取り組み
毎週土曜日1日5便

買い物困難者が気になる住民で構成された
まち協の買い物パートナー委員会が
自治会への案内や利用調整を行っている

まちづくり協議会から生まれた「補い合う活動」

江井島校区：居場所・サロンの運営者同士の交流機会

コロナ禍で活動が停滞していた自治会
など主催する校区内の各居場所機能を
活性化させるために、運営者同士が情
報交換する機会を開催。



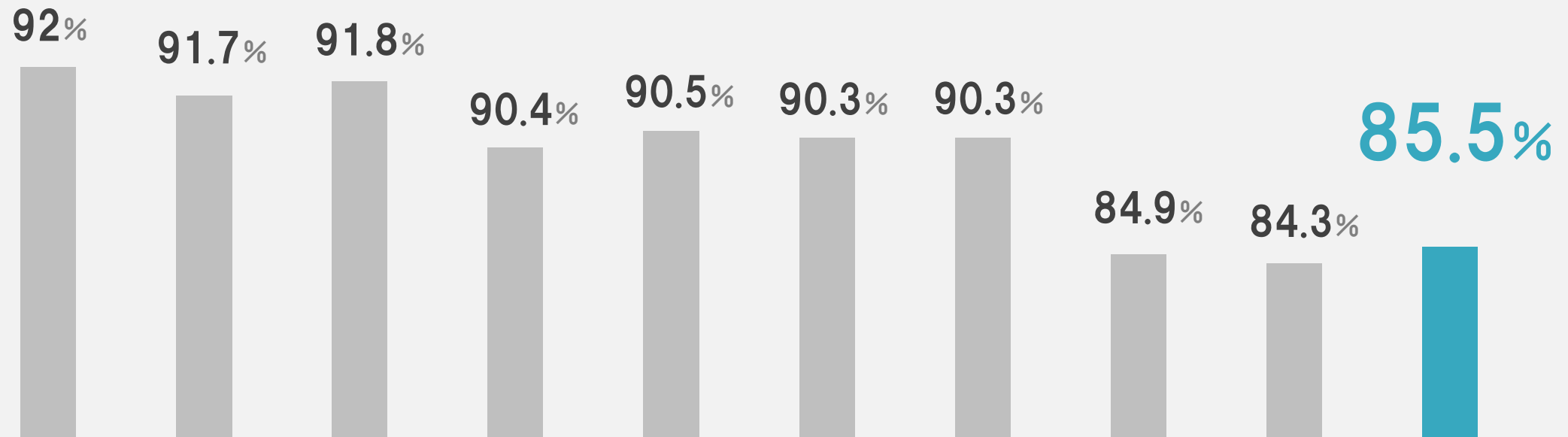
「開催する時は何に気をつけてる？」
「飲食はどうしてる？」

など運営者同士だからこそその悩みを
身近な仲間と分かち合うことで、運
営の活性化するきっかけに。

今の王寺でも できているのでは？



王寺町の自治会 加入率の推移（H26～R5）



元気なうちに、10年先の準備をする

「まちづくり協議会」設立に向け これまで6回のワークショップを開催



ワークショップ、はじめました。

本気でまちを変えたい

令和4年から開始した町民ワークショップ、これまで5回開催し、延べ200人を超える人たちが参加し、まちへの思いを語っていただきました。今回は、これまで開催したワークショップを紹介します。

地区を分けて開催

地区ごとに特性が異なる王寺町。旧小字区「北エリア」「中エリア」「南エリア」の3つに分け、ワークショップをおし、皆さんの思いや地区の課題、まちづくり協議会の必要性を話し合ってきました。

皆さんの思いが実現できるよう、これからは「より具体的に」進めていきます。次回のワークショップでは先発地である明石市の事例から学びます。詳細は3ページをご覧ください。

第1回

まちの未来を考える

- 開催日：令和4年10月1日(土)・2日(日)
- 参加者数：76人
- 主な内容：地域の良いところ、悪いところ（課題）、こうなっていきたい地域の将来像（10年後のすがた）をグループワークを通して話し合い、意見交換を実施。

第2回

HUGで学ぶ「避難所運営」

- 開催日：令和4年12月10日(土)
- 参加者数：36人
- 主な内容：王寺町防災士ネットワークの皆さん協力のもと、HUG（避難所運営ゲーム）を実施。カードゲームを通して、押し寄せる避難者をどこに配置するか、避難所運営を模擬体験。

防災士ネットワーク 会長
池田 興仁 さん

みんなで「まち」づくり。 これまでのみんなの思い

王寺町自治連合会 会長
井村 知次 さん

第3回

まちづくり協議会シンポジウム

- 開催日：令和5年2月25日(土)
- 参加者数：44人
- 主な内容：県内の先進地である奈良市地域自治協議会の会長らを講師に招き、協議会の仕組みや設立経緯、メリット・デメリット等についてシンポジウムを実施。

第4回

子どもたちのためにできること

- 開催日：令和5年5月20日(土)
- 参加者数：63人
- 主な内容：学校現場を知る元校長の教育委員会の理事により、義務教育学校の仕組みや地域と学校のつながりについて説明。グループワークを通して、子どもたちのためにできることについて、意見交換を行う。

第5回

集う場をつくろう！

- 開催日：令和5年8月19日(土)
- 参加者数：35人
- 主な内容：様々な地域で住民自治のマーケットの開催を支援している東京理科大学講師の鈴木美央氏を招き、人が集うことの重要性についての講義後、グループワークを通して、集う場をつくるために自分ができることを話し合う。

もっと地域を身近に
画家・イラストレーター
西森 直志 さん

第5回ワークショップで、コーヒースタンドを出店された西森さん。3年前に王寺町へ転入し、画家・イラストレーターとして活動する傍ら、自治会長として、地域の課題解決に向け尽力されています。

以前のワークショップで「コーヒースタンドをやりたい！」と提案があり、今回のワークショップで実現しました。

「こんなやってみたい」をまちに関わりながら実現する、まちづくり協議会の種になる取り組みです。

西森さん、ありがとうございました。

7 OSHIN

OSHIN 5

ご存じですか？ 変わりつつある**王寺駅周辺**

- 王寺駅北口から徒歩3分の場所にある旧中央公民館。
 - 令和5年12月より解体がはじまっています。
 - 跡地は、解体後2～3年程度を暫定利用期間と位置付け社会実験等をふまえ、様々な取組みをしていく考え。
 - 将来的にはパートナーとなる企業とともに「防災活動拠点」や「交流拠点」として整備・活用を進める。
-

Oji Homies (オージ・ホームーズ)

暮らしにモヤモヤしている人、
誰かと何かにチャレンジしたい人、
王寺のまちのこれからを担う
子育て世帯や若者、
新しい仲間に出会いたい人、
子育てがひと段落し、新しいことを
はじめたい人など、王寺のこれからを
ともに考える多様な仲間の集まり

図まちづくり推進課 (内線 264)

王寺町での暮らしにモヤモヤしている人
王寺町で誰かと何かにチャレンジしたい人
王寺のまちのこれからを担う子育て世帯や若者
王寺町や王寺駅前で新しい仲間に出会いたい人
子育てがひと段落し、新しいことをはじめたい人
and more...



Oji オージ・ ホームーズ Homies Meeting #02 参加者募集

オウジで何かが
はじまる予感



王寺町や王寺駅周辺に
関心のある方はどなたでも
ご参加いただけます

2023
11/25
sat

14:00-17:00

リーベル王寺東館5F

講師
武田 重昭 先生
大阪公立大学 教授
活動づくり・都市デザインに精通

※内容は変更の可能性あります。
※第2回は後の詳細情報は、Oji Homies
メンバー登録者へのメール、可公式サ
イト、可公式LINE等で発信します。

【第1回セミナー&ワークショップ】

旧中央公民館跡地でやってみたいことを考える

“ホームーズ”は、地元の仲間・友達の意味。王寺に関わりを持つ多様な仲間とともに、有識者のお話を聞き、
それぞれが旧中央公民館跡地でやってみたいと思う活動を考えるワークショップを開催します。

第1部：セミナー(14:00-15:00)

まちなかでやりたいことをやってみることを通じて
「まち」も「自分たちの暮らし」ももっと素敵になる。
そんなお話を聞いてみませんか？

第2部：ワークショップ(15:10-17:00)

王寺に関わりを持つ多様な仲間とともに、旧中央公
民館跡地を活用し、それぞれがやってみたいと思う
活動を考えるワークショップを開催します。

※第1部のみの参加も可能です。

【申込方法】

Oji Homies Meeting#02
申込専用フォームから
お申し込みください。
<https://bit.ly/ohm02>



Oji Homies Meeting#02では、
全4回ワークショップを開催予定。
第2回以降の予定は以下の通りです。

【第2回】2023.12/9(土) 10:00-12:00

『やってみたい』を実現する
プロジェクトを計画する

【第3回】2024.1/13(土) 10:00-12:00

みんなで企画をブラッシュアップする

【第4回】2024.3/16(土) 9:00-12:00

ホームーズ出発！
エキキタを私たちが変える

【主催・問い合わせ】王寺町まちづくり推進課 ☎0745-73-2001(代表) ✉sumai@town.oji.nara.jp

まちづくりの**主役**は私たち**町民**です。
より多くの皆さんがまちづくりに参画し、
地域の課題解決の担い手となって、
誇りの持てる**まち**を更に**発展**させ、
後の世代に継承する――。
そのためには**町政に関心をもって**
参加いただいた**皆さんの力が必要です**。

第8回 王寺町議会報告会

ご清聴ありがとうございました

